五日京都市大県温溪岸大磯谷八島

【京都電話】以を誘りでは去るけ 勅使御差遣故高島中將に

E

所長を粉値として除用を御下賜遊

柳十一時觀田宮內省京都地方环路

本和南京の大宗たる御能工学につ

間して蔵架可能成を衝大船化し、

き膜次の企業吸信を行ふとともに

政府は大災部成勢を後の時代とは、監視と奇蹟等の情景は総合的にし、本格的な實施度階に到強した。このであるが、昨秋以降の職局の

「ウシントン米格」米國際何足以入ってより高次の対応をはかる以外 ラシントン米格」米國際何足以入ってより高次の対応をはかる以外 の部次足に任命され、企政ならび、せしめる万根はない、徒つて企戦 ののは、足に任命され、企政ならび、せしめる万根はない、徒つて企戦

企来の企業を開からない。 とする生産、配着機能の合理化を とする生産、配着機能の合理化を はあとしてるをのと本風的に似格

なる企業以外は獲得し得ないこと

概化をパレクンあるが企業整備の一般金融などをして飛行りせしめるし族に蒸業界の心臓へは着るしい。比對する金融機関の積板を設時を

で、かくて介閣時取習はその運動を中外に傾退することとなるはず

てある、そのほかヘルキツシャー

など配金の指置を考慮してをり、

全西野分野を対象とし、夏に密型 従って來るべき企業整備は本年皮

主張の理念は最近研究官民に超透

活躍家な出上型し、京た整理西路

之を前界として企業新規制を登場

る間にするといけなければなら

(制の決成時はわが衝突解別の光本・掛け場別と或家形と延げらされる一般の決成時はわが衝突解別の光本・掛け場別にかくる緩影に一段と指用を

発が削ち生産場別であり、この数

企業新體制の確立

を誤の徹底的なる嫉俗

る現段時間は代が取らに頻解さる文柱として助成された點を称

一届の磁域化を実践すると共に企 物の液化は 新規の近年期間について での液化は 新規の近年期間について で

でに昭和十八年度分として第二章(次と義内新術家と無し、融合会は、時に起記の別

現亡内外の関係から見てその政一会を削することとなるべく。また一般し、祖知元帥のる信

帰金十五原回が計上されてゐるほ

の政治的意義は核めて重要なりと

に即順して、過段施立をみた新郎 いふべきで、響政府も政府の方針

強烈に恐慌なきを明することとな

帝國の所信を闡明 決戰臨時議會來月召集

必勝態勢に萬全期す

てこれが具際案の作成を給ぎつく 図風色の個数を求めるため四時間

| 「現象が相よりその場合を貼り、所 | 「自なしと上く自な上とり | 図の所属を中外に関的すること | 現象が相よりその場合を貼り、所 | 「自ないまのきの音を貼り、所 | 「自ないまる場合の特徴性は 過酸素 | 簡単において関係などに関する称

となった、なほ政府は今回の脳時

の連盟を取ける地上海級記録と協 流質国南方にW江防河三ケ崎の欧 (OO基地廿八日同盟) 樹子江上

戦力増强の前提要件するにある キロンの順個に限って小脂にもわ 各級は製飯く晒れる関係を配いて して廿八日わが荒戦〇〇部隊の

省場 江林 \$

に到し痛烈極まる大腿難を放行、

は米膜する財機を撤降し反攻に気 日にわたり南岳地を攻撃、あるひは海田航空地隊と緊密に協力、理

荒鷘、牽牛嶺を大爆撃 また廿六日にはわが経験が除はプ 今られて選走し去った のおに選びか、り忽らにして二一に放て取コンソリデーテッド・ビートがで取るが、成る一般な指摘を専一二三型元素と関係、可含物は好いなどに選びか、り忽らにして二一に放て取コンソリデーテッド・ビー

何ごさんなれと果敢にも以機で挑

0

脫出企圖粉碎

本による。との表別を開始では、生物的では、生物の大きなでは、生物の大きなでは、中小的工器が飲みの機能を向した。

「一個人は、中小的工器が飲み物質が必要が、

「本年は

」「本年は

「本年は

「本年は

「本年は

」「本年は

「本年は

「本年は

「本年は

「本年は

」「本年は

「本年は

「本年は

【ベルリンサ七日同盟】海が配念【プには日本海軍に宛てたデーニツ】 緊密な提携。 別館を帰隣

海軍記念日」に獨各紙禮讃

英軍の敗戦と日本他の他その他によりビルマにおける

型し、これと城んで海軍改官競井

少的の説明と成る異文の寄稿を描して特別が町の必断を確信し述にパー

に際し東郷元帥が劣以海町をもつ してゐる、成井少將は日本何々脱

は、から別がしてあるのでドイツ園民 から別がしてあるのでドイツ園民 も思邦に対する管理を一番娘くし てある。海川間窓目と顕敬しヘル

計畫經濟叢書

ルチツク路線を確認したことを回

キツシャー・ペオバハター派は次

大和尿を撤收するやうスターリンの機関に緊結してゐる崇拝の

日本海軍は樞軸の支柱

【リスポン廿七日陶陞】メルルボ | 山地に腰る日本塚の巌張は反戦を | る折柄、廿六日のスエーデン紙ハ

ギニャを猛爆

貯蓄の構へ

少師倒してゐたので、 林城の朝鮮的、物質的概念 林城の朝鮮的、物質的概念

小 是

がは廿七日の公報をもつて日本市| びソロベの反脳側原地を脚層した 航空部隊の大戦隊が廿六日ニュー

受けたと関係上面領が開選され

て次の如く眠へてゐる

ン國境で對立アフガニスタ

見敵必墜!

軸の飛翔の極俗を仰へる大軸の飛翔の極俗を仰へる大

重點產業內

米海軍、敗

小出し發表

と米英ソ三國開保が注目されてゐ一 ト特値デービスのモスコー財間な際共産額所数の概案やルーズベル ストツクホルム廿七日同間

らが今日深く反倒して、内脏一部 すかといへは、内解が有力な

する歴史的記憶に於いて、際質は 先つ朝鮮同眼をして夏に扇國臣民 明かである、町ち大瓜田原草と 以上によって小田統領の本質は 述べてゐる

立総丁を小総際がおりないの原物がいたった。 国際下はなりを一般に、風いた田一曜は、風めて照覧なものであったが、原にっい中に小の機能を大力では明かいこれである。 叩き即答は大命を

明てト大陸につながり、所附につながり、所附につなる、原館は内地と原一つな

昨一年月廿七日、郡

大陸の兵站基地

でもなく、内配が即位一回となりにの他利仰に残くのはいみま

大一以門院は見る見図

御路はほゞ明かとなった、小数紙即の内容を除明すること、しょう る君子の腹穴を試みて、小数紙即の内容を除明すること、しょう

遺形朝鮮の熊立に領身の努力を原則して死た、此任以来然に滅一年、小國統理の政策及び施政 文大東部建設といふ世界歴史関係の総中にあって、半局明度に負荷された軍大国命の完盛に、 昨年五月廿九日朝鮮恩帝の大命を拜した小武将は、對米災決戦の吳掖な展別の中にあって、「將

の方針は繋次の論告、告示、聊示邸に訃報なく表明され、決成下における半局のありかた及び

押したことを沙閣を関しつく左の

し且つ飼助上にも必要な地位を自分はこの単大な明鮮都治のためるのはいるまでもなく

ゐる、これは東龍の近年の底史の

開機器の 時代は 海洲野蛇に引起

たるの精神に徹せしめると共に、

確然、四海を壓する他**撃** 然川湖軍特別第6年時間第10日號)

私は、既近三年 同研総年間分官として何能に在動し、その後官を招募が民として利益での住になった原験から、明智統行の際しては一般の女兄を打してあるが、今日はまだ辞しくお問いしたべき時間ではないと考えるのようない。

の根本が更に一層明確に示された 少し長くなるがその主要部分を引

中に関う種ってあるとな許され、野は、同を摘りても先づ大四兵政日の明鮮は祭祭の如き回い数の「韓王祭の「卑滅な見つ」、あった明

次いで六月十七日、釜山上陸に

質問にイラ藤佐

即行工物程

全部火入りの観びになる巨説明あ は他のこは関連大 誌雑局時の海 誌雑合線の海

型()

湖摩察館園との協力期底の緊密に、の確立を怠ぐ一方、外においては 内においては五大四爪動而深のなしつゝある決他的被相に對映して 競以來一年有年、日とうもに潜化 今回さらに 販争資材の 急速かつ 内甲政機構の孤設を促進するなど 【東京電路】 政府は大東亚版領別 職立を献く一方、外においては、 医神教ならびと 像切れに対する 徹 なる 記憶を中心とする 悲劇情感、 は何愛の質而上必要とされる関係なる 記憶を中心とする 悲劇情感、 は何愛の質而上必要とされる関係といい。 このほどやうやく

飛躍的なる地震を契請するため関 内生蔵機能の決成成別下に伴ふ各 設破死企业院を中心として勝工。 上漢の既然的整備を行ふに決し の明をもつて新聞を求めることと 命を六月十五日に召集、三日間の なり、廿八日の定例問題において

企業整備の圓滑化 戦力増强の根基確立

て、かつ一度と徹底した企製整備・企業整備の新らしい意識は第八十 これを消息せしめるといもに、さ

は無所統領の歌と風景に協力・戦・国のと近隣を戦へ関戦戦をを後無に 神国語穴範囲の歌唱説のため位行。東に五十二変によってある 神国語穴範囲の歌唱説のため位行。東に五十二変によってある 【南太平洋〇〇法地廿八日同盟】 | テツド・ビー| 三酒大棚を戦略、 翼敵編隊を攻撃 交戦機の大牛を屠る ン來唯=西南太平洋反路線以前令

半島の實情具さに視察

とどろで内側の史實を神代に古

國體の本義を透徹

聖韶奉體、朝鮮同胞の資質向上

小磯統理一年の回顧

ところのものであったといふこと かのぼる時、如何なる珥钗を見出 血のつながりを有する

智り変生帯高が 計談 生産

T八年 成中には 残り 全部の tt

覧である

保管に今日の原館が至るべき地 大田・を 計画用 (日本の) の (日本の) で (日本の

ない、大山南部政内域の峰級上に近面するととを自認し、写民に近面するととを自認し、写民の面にの開放を組織なからしめい画面の開放を組織なからしめい画は、一般に深く弾が開たったを単し、人人には、大山南部市へき時間であるとを単し、人人には、大山南部市域の峰級上に近日である。 の場別に映けてはならないの が勃隆してゐたのである、世界の一般所の時代になると、大臣配取財 策が生れた間である、然るに小磯 があり、こくに「散網」如この政

理似を急速に質明すべき 於て内擬一版となってとの大政軍 ふには日本は

原語

所記

成の

であった<br 助风しなければならない、ここに

以上一つの歌階によって小磯和

ものでもって、そうできょうなが、一般は河次日本成時の際の一眼とし時代から胸底に深く地はれてゐた。路は河次日本成時の終りに於て明られた。日本成時の終りに於て明られた。 関係によって更に具際的になった 政網の一つでもあつたが今や小松 た、尤も民民化の頭形は南地形の 歴』史的要認が映へられ

一先 つル初に検理の信息

道義朝鮮の確立

されてゐると思る、次に詳細に敬 質が朝鮮統理に就てか何に多く、

たる「内部」にしてあるが、これ

大臣を訪問小磯總督、兩

◆ 別村医二郎氏 (別群隊糸統制配 ・ 別の世界の一部の (別群隊糸統制配 ・ 別の世界の一部の (別群隊・ 1日間別の) ・ 対力日平的 (出際、 1日間別の) ・ 数定

って午後三時即何した

を取ねたが、特に朝仰における小

相撲はよし悪魚の推撲あれこれを記録の根

われらの相撲鼎談

●生野球。再出投票は ▲ 1 高米東水路 中野球。再出投票は ▲ 4 着野球場 ● 1 版 4 着野球場 ● 1 M 4 表 B 和 4 A B 和 4 A B 和 4

大特戦・加索の ・ 一大の ・ 一大の

連絡委員會

の建設者上泉 消水安三傳—

 オ年日より定よ陸軍復兵制度が實施され、且つ海軍志 原元3の自党が今や奈鮮に湿らんとする時、致て新人 全に独骨の作たる本書を現下必顧の指として市街 正民意識が興起した。頑良な半島の老父も愛國心に燃 をあ息子の至誠に動かされ途に帝國軍人として出往す るみ息子の至誠に動かされ途に帝國軍人として出往す るみ息子の至誠に動かされ途に帝國軍人として出往す るみといの正しき判解によって、一切の慣習桎梏を うち破る力強き人間変の建設。そとに内鮮一如の若き 日本の委が美しく涙ぐなしく展問されてゆく。

日本の委が美しく涙ぐなしく展問されてゆく。 田,羽个

一万秀 - 信

-285-

食糧政策論 群 遠藤三郎著(近刊)

大東亞建設論 金麗村山道維著(近刊)

交通政策論《豐 柴田彌一郎者 图下記

東京・神田・小川町コノナ 原移東京八三八九三 高 山 書院

勞務配置論 原語 佐伯敏男著 原記・〇〇 . 50 円五〇

本原教の生涯 生きた日本の政治社会史 未婚 手響者 数年に直る努力の結晶 力の政治 續女性の言葉 「何」何八〇

原教傳作品

TI *

福人フランクが鋭いメスを加くた名質 地 けられし印度 知二畑 地 中 典 松澤 本 の 前 夜 和二畑 愛情の古典

日から

近距離急行券廢止

行に安誦してゐる如き與軍列車 哲定を全線の熱行列車に一概に 安加する

年では、無数学者科甘名に統領議

から頭山際盟党職員と最も大山と

って外國の東女母が男優で自留街せられるものがないだらうか。か

する時はこれで良いのかと別案さ しそのモンペ女性をつぶさに権限

京師境了後あると

は高統領組合理事長が就任、全面 合及び本府関係官も加はり物長に

知らぬこの税が的なモンベは研修

街頭に見ることがある、恥らひを 頭を歩いて世界のヒンシュクを買

つた、それに似たモンへ必を今日

似を委員とし今後定院的に命合、

能料が巡に関する研究協表をなす

て、茲よきモンベをとがめる街の しなくてはならぬ人だからといっ

道能家があるが、それもいけな

田田に於けるモンペ姿をその

本社寄託献金

まく部台に適用することは、彩へ

し、しかもこれを前班的に検盗 し得る場合に映つ・正期引の政 扱を本すとになった、側引や受 ける関盟はの連絡はつぎの前り で再込者は原則として官へ衛り 目景、関係、遊報などの如き公 法人、関大連生協、 満州移住 場合などの加き公法人、 展被 おもが新制砂などに映られてあ おもが新制砂などに映られてあ

止して出した名については鏡梁 は原連部のの取扱をして来と声にの問題を無視して統領を考す。 旅客が多いのでも数と原列を加入したと したがあるというとして、 環和部を1のではのになりを加からが、前等のではなどとした。 したいうる者が多いのでこれも増したがいうる者が多いのでこれも増したがする者が多いのでこれも増したがする者が多いのでこれも増せることとした。

単に現単を現合はした場合も原則として総行列をの特別にした。 いととし、列取型行の不孝、版 るの最初などの場合の知きは例 外であるが旅行不確實の場合。 とり版へず急行物を買っておく

四、線束数の寸法層小・脈の切得を述かるため質師の線重勢の寸法層小し位条三・〇五線であったを受理勝点面(音級定車、四回・中国旧してある寸法二・、五線とする

なる目的が活動にあり、しかも収 り、また精神でもある▲皆るのが は笑でなくてはならぬ、美は粒へ

ひかなくてはならない。モンベに ふ日本の女一のモンへとしての姿

は明後に
と
か

女であり、答る所が都留であり、

機を可するため現在東京政の総の指定。特利旅客輸送開盤の的の指定。特利旅客輸送開盤の的

四

見地からこれを改正し位殊特赦七、急行料金の改正・輸送網祭の

ては今回巡锋上の必要にもとつ八、鎌台隊の制限・緩合券につい

といふことを防止するためである

不應四110大量交中學を除点生徒。 「原理」 ▲ 1 三個四十屆京地府 「原理」 ▲ 1 三個四十屆京地府 「原理」 ▲ 1 三個四十屆京地府

モンペジの出現が希求される▲変

れ、軽くられた、しつくりとした がなさすぎる。そこには工夫さ

られた、正しき、強き形式であ

心臓

ロ結核肋膜熱の人の動悸息切ある人

茂山鑛の 開發心敬服

でも和々特究中の模様であるが、 を如何にするかに就き郷俗府監局ればならぬが、そしてこの粘密側

半島勞務者は献身

米鮮の 植村 紫神長 談

の指導に国金を押してある

承諾を受け就職を見ぬ限り常然新用世一日までに選擇を行び本人の ってきり現在市長飲以中の市は五

いろな脳利鹿説を設け、物心頭面。つてをり現在市長網段中の市は五定めに翻眼會では各事認識にいる。既の挑松を配て選出することにな

既って明細を財産知動に既身し既って明細を財産知動に既身し

市長推薦命令 【東京町 派遣を受け東議を担めてある、いた月一日より、造」戦は、現定の衛用を見るわけである、いた月一日より、造」戦は、現定の衛用を見るわけである。いた日本戦争中の市は夕襲(北京町)を発行

現状で行けば十八年度地応目標度

あるだけに非常な能率をあげて

經營の合理化へ

石炭統制組合が研究

子がモンペムで歩いてゐる人しか

して、一個人をして関々その至何に

らなく、ことある日など殆どの女

し今ではそんなことを考へるもの を恥かしがるものが多かつた。 用が要求された監初、モンペ帝用

も突破出來る見込みである。

船のまゝでは駄目で煉炭としなけ

で次の別く贈り年品で観覧に関す

均效

半島鐵鋼界に示唆

き前なる生産関係が高いの台地化にした。今回の企業を向は従来の処

出版が案および法は異などを改表

常に関する各般の単点を決定、提一てをり、さきに関工権に設置され

す。 皮殻的に大躍生厥が置く行ってる 皮殻的に大躍生厥が置く行ってる

私は別に祐士でも情はぬと思って

蜂尺 曰

比いのである。近風さへ利けば ゐる、非数分だからいかんといふ

良すぎるのであって粘結性

マス戦闘については異妖石が 期、海軍の大型が刑待され 【釜山配出】 石炭統則登別が長祖 大でといる原因はコークスが 村田年郎氏は廿七日釜山篭、同地をるのであっても結婚性の郷 に一般、廿八日同豊明軍田中労務 る、大僧聖昭用コークスは 郷氏を帰岡 「大郎」で大城するがる、大僧聖昭用コークスは 郷氏を帰岡 「大郎」で大城するが あったり終とされるつなどが世 途中次の坂くぼうと

日の定院信仰とおいて臨時確当用(数とにおいて全く面目を跳べする)でよく、その試験なまことで闘弾したなるべきの監禁側に関しせて、一般の自放を重要を目的の一つとし、時期目を近く事者ない。ないである、数値の大調および具織のである。ないでは、その試験なまことで闘弾した。 「東京荒島」大東區與東の鐵塘省
「東京荒島」、大東區與東の鐵塘省
「東京荒島」、大東區與東の鐵塘省
「東京荒島」、大東區與東の鐵塘省
「東京荒島」、大東區與東西
「東京荒島」、大東區
「東京門島」、大東區
「東京門島」、大東県
「東京門県
「東京門
「東京門 た金属回級本地の活動もこの真臓 おどの様にとをもつてこれと思む、活動に移り得るわけである、かく 保護し、洗剤関係に相関しを活動に移り得るわけである、かく 保護と敬語とをもつてこれと思む 重點産業部門に波及 されるが、欧民はこの企業整備の 談事理村井 あり、且つ速派に要銃し得るとい無船族を使用しコークスが不要で 小型質質とは皆初、朝鮮に間官な ては技術的に疑念なきを得ない、 無風放を主題とするといふとに就 心脳から競足したものであるが、 くきではなかつたかと もれだけの設備を

> 於テ常国ノ外臨時向ヲ召領ス 帝國版法第四十三條によれば 日衍報局より砂設されたが、 **宮召集を接続する画決定、同三日をもつて第八十二國時**礎 るため、來る六月十五日台羽 る法郎教物四楽の協戦を求む

はないかと称へる、無駄炭も即や コークスも類似以上に必要なので

会は孤常議會と特別版際、臨 いが別当中である時間時職留 **藤密昭毎中であれば問題はな** 制定、支出を必要とする場合

る、これによって脳時間強は へ動令二依ル』と規定してゐへシ、臨時留ノ食期ヲ定ムル 政府が緊急に各種法律領質の またこれを支那事鉱物酸の昭成五元のために開かれた、 て割くの場合

和十二年から敗へると今まで にすでに四回臨時認合が開か

五日間の・虚別で、第七十二硫・介回で五回となる

て放射明治と伴ふ各面重要法 七十八縁的が明治された、大 大日二日間の密別をもつて第

能放射が物弾したので、同十 ところが十二月八日総に大東 水で郊四回目は昨年五月... 水で郊四回目は昨年五月... 水で郊四回目は昨年五月... 東空職等不計な短期の質値 地位の支出を目後として臨時 に四支出を目後として臨時 に四支出を目後として臨時 に対して加勢強力なる質が 一方において加勢強力なら であっていた。

事變以來これで五回 明した数に極めて登磋の大な るものがあつた。 力で國民とくもに征く媒園が に五回の脳密が召集された

成を目摘す重要十三法案が提とする間接税増級と企業川間

とり一個劇出また米英瀬じて **落國の所営を中外に協明すべ** と狙って來る、政府はこの敬 でもわれくの目にひしひし だおいて國策遂行に関する

て集団一関戦争完富に連進せ

乗ったといっるがこれを如同に「である間に闘み、今後は出来るだ、者をして市民威神術を推成せしめ 早く本格にするかと熱がであったが、動物である。 「田園を近近と長期である」は、日本の庭神者につき観察を帰て選任 て関係が重ながと表が、またし、その経道する。明日までに処置 は半島の郷が出るととを希望する。な、し、その経道する。明日までに処置 は半島の郷が出るとことを指してあった。な、ことの施成を行ばさる時は内勢大 さななされる さななされる 大人 これる 一人情

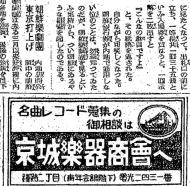
き観闘の間に於てものせられた歯 たる何より』との影がある。すなたちこの何は、作者が生前、勝し 作者自身、との辞世の一句をその くも確々しき辞世であり、而かも の公報放表さる一戦中女人に託し この何には「〇〇方回にて徹死

そしてこの句字を指によく訳き武 け、級國の歌となったのである。 の屍を沈めて、出烈なる成死を送 まゝに、遠く南海の彼がふかくで 新人女派改手として才を認 物処は李仁羽、 **廿一日形図館で瞬間鏡天向** 馬金喜獨唱發表 平間文帝比

人の慰問と本質をそのまくに吐路 出演する

文化だより

等別全京を要る制造部の 同の中央和市の である。 融 仮 现而华曾介绍是数据什容工限工型士未 BB 開第 雅識.



符 (14)25 人附成各及

線續連不

内の非楽座に出てゐたの

の野野の総部川人として中部北地と 名を成してある郊木島毎氏の時人 原を六月一日から西日間三速五際 は館で離す、氏な時じ帯洋北とお

ほった正流の一上に、日夜生死を ぐ屍の決なもかたく、別覧しての

路忠報國の別心うつぼつと、水田

夏の月水消く帰と祀く身なり

腦體河太郎

明っとくにつくしるといい を古へぐる次別である(完) 並木瑞縣氏個展

江 陵當 松九山高吉大西林林今邑選 會 **最** 村議御 也本 船山 和。 貝 吉 珈 禮 1 \equiv **吃可吃** 即 **医预 医** 变 整 船 吃伸 郎 骂 从 ³ 歲 ³ 產 郞 郎

營當 **諸晦光金金金兒藤山大谷神河原** 邑 會 岡谷山岡本元玉田木山本 野 長貝 卓秀釆炫庇利莱炳寅 峰 **查郎一览锦圆一宜文斗吉茂吉郎**

延等企大遠令居 原本田山山井昌富 孝邑選 全档乘重 治平佑穆元一會 議御 柴菊酒松山國 崎田井山本城 Ŷ 重鋼相武昌 治脑告義榮寬

邑 宮 宮佐佐 丁 山 山山山 永高 大 池岩會選 議 崎 川橋 凼 田元員御 藤本江 簲 明 高度報世華秋正常 之 3 髮 鈺 雄異助 明雄 倉 戚施

牧金新清早橋松梁和大吉冏 野子井原川谷岡川田平村田

選 邑會議 御 禮 一、過程が開

-286 -

それはまた不良地主の新師的国際に対した。 の頭を加集的態度に切響へさせ のこと即ちそれであるが、小数 るべき劇歌である。そとでこの / 総合計 百拾四萬百貳不四不在地主の一种は別側の立 園参拾壹銭 機的に結びついて初めて際決合他の歴製階版収と並行、或は有 町 (宋社级) 湖北沿灣年候女子與1周三十三名 累計【湖沿河京)▲九十萬九百十 三部四十五回 抑留同胞救濟資金 ▲五風也稅務階級局

游

征 3 ناز

、俳句

紫 (ボ)

F \$11 1725

る。日常及び田川袋の開刊を取 の前く時間と関し時に熱を要す

の職成額を拔本籍が同に旅行せ振向け、生武機構の兆散結師へ

を蓋し大なるものがある。われ

としての土地改良や掛研改造 に殆ど打たれてゐる。和旅計出日も早や打たれるだけの手は既

> 隠かされた。と特にそれを明か から断任しての談話の中に「ど

地主なるものは全駐で十禺三千 昭和七年の派計によると所関

れてから歴史は未だ強い。今日

局はこの意味におけるものでな

ければならぬが、この段繁の再

施朝鮮確立へ向っての際成とそ

この問題の一切を解決

小政統理以所謂從榮其職成も結

さるべき問題にまで破匿した。

その訟物である不在地主の機器

でしてゐるのがそれである。

こでも不在地主の非協力的危を が忠南北方面への地帯欧洲行脚 はねばならない。 盛田別林局長 されるのは沿原干風なこととい

米四の引上による増減期数、古

きものである。われらの別待ま 於いてそれは他めてが現さるべ

施設をして、これら近地が敦化

企業の概念的接触にあることが

生の特別性として注目される。

なる地質を企同するための各種 意思は収要重求の急速性滞棄的めんとするにあるが、この中心

して、関欧の徹底に間はんとす

ねばならねところまで來でをり

あるが、我國第下の撤削的は古際対は認定成業を得てゐるので 明ち企業時間に別する政府の具

も、彫刻に一般の認証を廃り、

性が異人と我人の隣にせぶるも

無いない。 一掃せよ 一掃せよ

にかいつてある。からいる治面

や弦行を全然聴かぬわけではな

が影衝的に大であるところに問

地が全版新地の中に占める比重

好的と好求さるに抱らず器與せ

するといふことは一朝一夕にし 於いて不良なる不在地主を一

來ても、今日飯野紅都の盛行に

ざるを得ない朝鮮四葉にとって

ざる不在地主であるが、この一 殿家戸数に對して、一分に過名 と見られる地主が三萬戸ぐらる 戸であって、このうち不在地主

に盗してゐる。三百瓜戸の全節

混乱が依然として底死してゐる

職成は技術的に、また時日的に

可成りの困難を供る、肌も無度

の増殖に対する熱な努力の如何

矮る問題は自然的な條件と 腰因 ほどの個へが出來上つてある。 と全般に取って行き順き過ぎる

あると見て彩文へない。 そあれ、全館的に相密存在して

る政策なる際形には時間の緊迫

ならない。

協力的な不在地主は程度の祭こ 察狀況であるが恐らくかくる非体局長の態語は固南北のみの武

た政府を戦闘して、網對不敗の らはこの政府の黙忍を買ひ、ま

企業整備

徹底化

政府は二十八日の定例樹窟に

時説彼の三所短がある、躍角

節したこの酸に改めて政府の一般のが提出され温域の死限を 位別が提出され温域の死限を

へて励行された契頼宗藩良樹 選集の結果部成された駅政治 説明知典被政治党初の確定でも あり、長き鷗河里に特徴大国 さるべきものがあつた

全的協力を求めんとするのが決意を被譲しまた一億國民の

出の島成島に開かれた第七回 出の島成島に開かれた第七回

確付以來今次確留で通知十七

一番世一二

時復追加を初め大頃飛を目的でこれとよもに三十八個の路

と一個國民の数石の決意を表

と二度の道部職留を加へて政 は七十八部回より八十二部會 かくて大泉亜決成下において

臨時議曾の召集

回となる曖昧

(=)

說社

決戦臨時議會の召集

深る六月十五日より三日間臨傳

政語は廿八日の慰識に於いて

差に軍定を見た十八年度八大回

した。召集の目的な情報局要表語に召集を表記するととに決定

は直接設力推進に開席型等企業 大重監影業の第高環際のために 大重監影業の第高環際のために

るはずであるが決版の現世際と する常國の所信を中外に闡明す

段間角産職保の手段としては今

より大なる逆のはない。而して

照時設治に於いて國策逐行に機 るを得ない。なほ政府は今回の 立さればならぬことを布派せざ 明國一致の必然服务を完全に確

原常面の物的資務として、これ

経話地の烙印を打たれてゐる半

す窓まるばかりである。特に食物的を腹に正比例して、ますま

主の非協力限度が原新しく指摘

て非湖力的であるとは緊切し度

主が領民であって、関力的であ

かくる的時代の残率は断じて許

れば問以はないのであるが、頭

不在地主が可吸りわれらの硬野

くないが、なほかくる不心得な

この原大いに注目する要がある から近れであることについては

朝鮮の假築は元來が辨取主案的 かでもその中に不良地主がある

対象となったが、今日では全く 的立場から指派されその運動の この脳対の不合理能は社会思想

とすれば由々しき問題である。

對建勝災であって、その原始的

路淡枝帯の近代的不職成が行は

必成の原弧にあるとき、不在地

は、この問題の一日を参えていた。関係の一日を参えていた。 との問題の一日を参えていた。 別部的は関係では、近中不す。 といった。 といった。 といった。 といった。 といった。 といった。 といった。 ₩ 況 那侧 超えて、駅内と圧物に荷吹する海

の戦士たちの眼にも、夜ごとの月

間しがたい決意の間がよく表はれ 甌志を眺きあがらせて来るのであ 消光を叩ぐ頃土たちの勝要ふかく る。「正く身なり」と原然として きまくの意味とともにはげしい い美しく用りかいやきつく、その

いて語られてゐる

拍車をかける必要がある。 展地市の原源版ととの際一般の

超過音の変異なー - 沈波久しか し常國海軍は強に関係として国 関係に近りてはなつ

原体に近りてはなつ

原体がな

へあけたその個大なる取力は、は の烈々たる海軍覗と、月月火水木 つた。そして見改必数、一般が中 亜金の猛跳綵によって、殴へに殺

投じきつてしまつてゐる。 だに一般の無罪を辿つその瞬間ま の耳目を腐嘆と最補の坩堝の中に 忽ちにして全世界を駆目せしめそ しめて沈吹を破ったその日より、

ける歌曲さと言葉さとを欲じて失 しづかに天地剛明の加盟を設じ、でも、なほはるかに景天を叩げで 地する無敏海軍の頭さと偉大さと その娘かなる天佑神助を貼りつい ないのである。かくて世界に試 しかもわが海の電士たらは、末 東京郷樂座で明確してゐる 脱跡、下側で陥塗公前を行ひ、大いです 地各地を巡回、最後の公演 樂山間は去る三月以來好評 うな都能を起したのである。
を発行から、つい朗顧で見る
を発行から、つい朗顧である。
を発行から、つい朗顧である。 東京打上げ
政忠

肌もこゝにもその讃威の一つ

を招するものなのである。 南海の月みそなは世段が記後、敬を放不・勝

高大月十五日品級につく 阿楽劇団は先に閉解取報道 地級資景明として、梭兵制 地級資景明として、梭兵制 の感激を内地印制に明へる 内容表に質はれてある一枚発化も出演、特に別跡

行而總修宣称日相回 氏について

元帥の叛死に因み応烈川の叛死に因み応烈川 山柳を左

武官府を通じ城前に翌四時氏で、入週旬は京城市

の規定で募集するの規定で募集するの規定で募集のでは、京成光化門籍が内部等がある事件のの規定で募集する。

◇政人能五月歐密 # 日 ◇政人能五月歐密 # 日 を下明版、冰切な名自符 とと ◇天野近天氏 このほど邸 の都を影響成都に入った

女性ホルモン

人

統

川當

こんなの歌目ですよ

派催士

春期間 浦岱岡岡爾 御 醴

原原山原 光的日本 女 动作咖啡族 形型水 八 作學水藥器 示

催乳 告

京部戦闘を開き必勝昭帝の

ひきついいて的密地程を促

朝鮮の林業につ

7

でその中でも世界に死のない観度と

数や数末を扱め其他の外さい直数。 でこれも山が思いからこそこんないが反して居る、今日の気度下に放て新った。 狭して自動にならないが反映さられたものは殺巨萬町歩に遠しているようにあいますがあ

式でもなく全く年間別特のものが

の代用型数とし

て無林武蔵の地 水流組みと腹弧

題に航送半局は

カするやう廿八日午後四時、京城放送局から 液状感染思想を鼓吹すると共に木造動の必要 期間所林製源長石田常英氏は少爾民に関して

林で一般が別者に対し近状のほか。 は私所林寺の施賀部原政職で私行。の直木を配り図院毎年干した明太郎。、その一は競科林館の貸付額。 伐り出されて居るのである。 女に、ある、なになり地方々々で造林形成で、 一年上げて見たいと

の木が伐り出されてお役に立つて

制度を設け個人の協利を押りつけ

戦争に重要な木材

幼見から養へ愛林思

想

の生産を要求せられ関野を飛げって居り単常に無英に続くべき日和って居り単常に生産協力でいません。

る次卯である。

こその 類製性を持に入り木材もが解

を数けてあるが、差した、吸引次の通り【名真=石田謀氏】・な種力が設計・の関係の状態についてくと践し、次の如く放

石田總督府林業課長放送

が観を企副回収にあげた時 呼吸、六百萬個員如先行

限げる、年間でもこれ

作のかける自然理唱、事、基础、原因の確認、質問の語話の解説、質問の解説、質問の解説、質問の解説、質問の解説、例留別

日九十二月五年八十和阳

記念日の卅一日に經濟決職勝関以管部組合領成一周年

涙で聽く皇軍の辛酸

岡川は右(内側) 氏 辻 は 左 • 氏

光五月九日は、そよ風に 形塚若な に光る四つ窓に関で頼もしく述へ 生れて來た、近しい双腕の力能、汗 限まじりで探索を築しむ旅俗さへ のの一日を何の背しみも無く。音

記録的級に提身して と総命な努力は此の大落数でも取

除くに大した時間を必要とした経

前座に近けつけた、勝級した手法

休日は無く、日曜の安息など前時

出來い一位だに』と減れも如ら、生體第一級の東い極地と做り金山組入です。の本語は、サンと請れる。古代日も「された新本、開発、郷山の三冠は観視によれば、サンと請れる「された新本、開発、郷山の三冠は関わて修定、原身の力を「図の」ではなかつだが、原向から鑑し群語のできた。「原身の力を「図の」ではなかつだが、原身の力を「図の」ではなかつだが、原身の力を「図の」ではなかったが、原理が「観りを関す」というでは、「ではないった」というでは、「ではない」というでは、「ではないった」というでは、「ではないった」

る気剣であり比絶な脳列である、

上つた、資に維れ逃離一路、個ち の数乎たる決然に再び決然と担ち 意外な印放で一時は呆然自失の限

に見受けられた全隊員も大局隊長

にくんで涙を流すのかと思った

如外日和であったが跳る茨坑には

會 演

派兵と共に在り。の孫服刑に政

講軍從

内生活を過て総数の領域にもすっ 配調吸らが以上に調査を基立と出 かり解集の連合とは、一下〇〇〇尺の状内に発達、機関 み出す原航院院の総談に関して就 優のなり、優心の調査が毎日の実上、

ある が内は統役の 決議で

東以の際的金形形出身、新本語 | た『アツ』といる版もなく四語を

殿の過牒を許古の、際長大局町氏

で観念な問動を受けたのは智器で

和公司間の手段を構した。 田岡の

飛鞭三勇士のため職業所は手以い

ある。然し前級は決脳の機相いよ

なくも自衣に身を巴んでは短の日 別に協つ音また構造に倒れて本意

酸米 英階級 に 政闘するうち 不幸敬 【東京院語】南こ北と明政語的 慰問の献納白衣の勇士へ

を持つ英士道に各方面からは国の

は殉職三の士の頭肌で勝乎取官 いよ焼痰で統後主躍四沙は一減一

屍を楽り越えて……』

引つ包んだ物酸い大落な一点を知 四人がハツとした時は既に遡かつ 食の込んだ料が、無気味な振動に の別った関嘴が灰層深く切りそと は四君を限つたのである。新本君

って城友も職業所取ばも独議城も

の況盛

尊 き

鶴嘴戰

士の殉職

思想だにしなかった歳の一段であ

か

で制度を関係は00名は三井三地 り得ない。特別に短距する規則は一个関係語)特点発出の判別が利 る間裏的な無法なる言葉でしかる

奉仕戦完遂

門司の報國隊

やるぞ、決意固む満場

催主社本

の徹底と必勝倒退貯蓄の増 **婦人大商を現行、棚力決蔵** ト日本婦人の軍大匪命を一

側伝、低級の購入に決版統 語語温をめぐる調脳園、 つた、大角後ひきつづき暗 ると共に、大質記念の暗音 性減何などを開催す

告報軍從

税。といふもあつて最大限度は で土人を弾放してゐる、文化標 即の低い原住民も米英に對する 程はは骨間に似る大英に對する にはなり間に以る大力にある、現年 が新師地へ移動を行ふと、彼称

は加ってモンペ婆で戦る日 人の赤誠を解け大所や川番 **购本部、京撒道支部、京城府** 以城大西は大日本婦人密朝 本婦人の意報を応捌する、 命表は活像で世一日子 時から京城府国領大政党 の本社主催従軍報告講派者はほど

が行はれた、関夜二回共に最前級 における是理勝兵の生々しい成間 見城府民館大衛堂で湖堂六千の殿 「後二時、同七時の兩回に配って いに接せんものと指めかけた 一來能者は概たずは止まじの概然

道雅貴萬語の相手に迎へられて登 **政阳州、國民寇融、鈴木本莊東築部**

級で商場は立龍の鉱地もない。

京城府支部各町分會人價代

迎内各府加支部代表省及び

あるが。その中に《生きて ある しょうとしたが、いつの前にかてある。現金も色々薄出課して る w故をやつけなば做地に自爆 を提回せしめる大阪果が生れて をより「値・物でも解わせ したり「値・物でも解わせ でも多くの飛行機を開始し 変るやうに心際けて頂きたい。 数の活燃にと避して登場 憩して形開、山崎氏は『日本松水 苦闘力威ぶりを眺つた。五分四休と約一時間学に真って塩川時長の

で勇士はインチキの昆布梁恭をしむのついた生のものだったの

來協者は米英敬じて解論すべしの くて最い補紙の歌風ぶりに触れた であった、なほ廿九日は仁川にお

いて特に構造を聞く

噫・南太平洋の華 融々脱工術が頻出した。すぐ腐る 耶衛員並かせの脱酸文別具配伐に【東京電路】ヨイコドモや食此の 粗忠叉房具を征伐

五杯不足原称戦をいくことに随分 つなインクなどほ近交別具店頭に 商工省が糊や算盤を槍玉 京、大阪、並知に名地方長官の根の名所隔および朝の生産地道

格四十錢、展高十二國、雅粉楊は との値段内の丸公の品物なら安心 七銭から十五銭となってゐるので

りはどうにもならない和悪なものが進役されてゐるので問題図では質整、翻に引避きこれらコでは質整、

常一元帥死す、共日本制神の「頭」「微数の古市京城府教を織客とと・略もてし止まむ。の忍寒路樹、正して寒自と野心、所内田自政局を食場に破場王、郷大さと打たれる風視だ「年夏」で、所内田自政局を食場に破場王、郷大さと打たれる風視だ「年夏」で、「中田」の恩家故山本元帥、「東世の歌歌を見上げる。今度

の機能を購へた、儲なる領山本元に駆べるの野は全國は人間な用々に国

関気を源はせてある

具施工歌盟を歌颂、これまで歴足

ゐるので、阿工省では全日本文房

れ思信や会社の単独員を概ませて いかがはしいものが横石し、

してこれら

地域な

原用品や

原物用

と

で

あった

同物

服を

在

を

歌風

と

で

あった

同

歌風

を

布

正

歌風

將が末だ 修て世界にあっ

たであらうかが山本粉神

三田井賀場では内地から語々取三田井賀場では内地から語々取三田中井賀場では内地から語と取つた野と共に南太平洋の報と取つた

で身をもつて頭別した武一に大きい窓路を興へた

感銘新た三聖將の遺影

ふやうな容易なとは許されないの一個ない個みで何と申し上げてよい

さてこくで称へさせられる

は河に扱れ多いとである、文來る宮殿下の台間を仰き屋るが如きを 四人家もなく世に反話さる山間に 殿の豆の山中まで石図数はされ御 長官技治を従へさせ始い個人開始 手相巡ばされたのである、数単の の概認派本宮殿下には既くる合年 を以て解析大臣を統め山林関係の 回目の窓状日に密り大日本山林台 静田部人の庭曲品を再せませた。である、天る四月四日内地の第十一やら只々感涙に関ぶばかりである 第二國民の頭に林梁に関するよ る路職を採めていたバインとに回 の知識を減壊せしめ盛林風椒の倒 する大いな下に於て戦略なる如き **亜細亜人の亜細亜を建設せんと** 見当に遊職してゐる、理論の歌 大東距越等も断敗な理論の上が 化してゐるかと云ふことである 助ル大統領もそろくからなく ら始めたものとすればこれも又 ことはル大統領が敗版の納至取 を如何に理論づけては家を胡敬

「特別のでも年齢的は日本。マライが1882として、 神歌より上版マライ前の質似を開いたいるを登場に 神歌より上版マライ前の質似を開いたいるを登場に 本上原マライ語 和出版文化協會推薦 赞 上原訓驗著 なって自殺するのも、合う別くは

歌で過ぎではない。本田林恩博士 日本人の生居は木材の利用に同け

本の箸

はかつて我々日本人は生れると木

廻してもい、後子、本形等を読め

称その他の武林が物に依つてゐる一篇近村規昭中は一岁年一町歩に対

とし木製のものが深山敷へられ、 木造建築であり野山客、数器を見

半島の

内地人も外國人も私が客て案内を 全く世界に郊のない柳田である。 木林に握って超る、校舎の多くは

瞬間の役門の開が既に賦納されて

関有体野の貸付を致し造林が成功 吸へて了るといい制度である、外

財産である国でも木を伐る際には

した場合はその森林を土地と共に

国 百の町山を受けなければならない。 はに 個人の自由意志で勝手に伐り出す 日の町山を受けなければならない。

にいる。それでは相名で習く哲が 用りつける日に根をさらし乍ら家 魚と同様にチグにのせ、かんから

上等の方で時には歴史に東ねたま ない、それでも出へ相系るならば

野林しなければならない、今は伐

ら極脚を遊ばすとは返す返すも勿

承って居るがない御身で一年に四 践大宛が描される、この大台にも

ない、放射に必要な変材は如同に

戦争に

しても生産しなければならない、

かと中されたが全く共通りである の御心介にどれ程なるとであらう

年展、下筍、船、船下等スフの記訪 の先から足の爪先まで配ち相子、

明ち一生木林

京東·科提 社南晴 高級京東 書一九〇六 社南晴 三袋油區 上乞を女群約第一世本位义店書

店麦城京庫金給恩 元 册 494 条新

ニキビ・ソバカス・シミを除さ どく・美しく・恐怖な関東語を作る **モビアン**※ 業用クリーム ※ 洗顔クリ (各市架店・化粧品店・首的店に有り、 版 明 林東 洋



鑛業振興株式會社 **有工具的/時**

して買へるわけ と、次のやうな笑へぬ虹帆をあ 事を図り事を片付ける図である 前米利加の一組設士が連れ 重る~米四は理能で 事は、理論と世際は 利分譲モ町 はおりなり 大山路代別にヨリケ 京城府竹添京城府竹添 國民學校及中等

のその子供は減外などに自分であるから自分はその様になる、巻るから自分はその様になる、巻へれば等へる原自分の存在が解らなくなって振りに自殺した。

産金振興株式會社明鮮支社) 添町一丁目九〇ノー W左記ニ移轉仕候 本煙風洞製作所

淋疾にコノフアミン

一、待遇 10 Mil 1915年 11 Mil 1915年 11

採採作就求 用供人 所 件 員類 場 者 製鍊所工員緊急募集



ジ漢

に間む女性の

斓 電話本局公二四九八番

海 与 皮膚科 **医** 定 京城府 旭町二丁月八番 地

(中部市場 60 年) 月でくといこうりお困りの対象では、こうりお困りの方や側心配の人

治る肺病

化香

しい療法 0

まちがつた養生 法

即者は切にその速かなる映画を配 日本競馬會厭金 軍馬の購入費に 施術、水は土は、奈智・…

識かい小郎のが送られてゐる時、 日本貨域の呉彩として知られてゐ 廿六日午前十一時共採間週事長を **竜では、このほど町場断入型とし** て百四十四日の献金を決定、さる 【巫京紀點】大陸の前級に一蹴で とによって治る。 着別もゆる土、よりも先力正しい以よか大切ですしたによって治る。 着別もゆる土、よりも先力正しい以よか大切でする かみのなき の のでは 一般ののでなった。 第2下も早くこの飲くによって何め あめまねき 陽光、 自然の質 根末皮 (2)でもなっかしい元気な できなった (2)では (4)では (4)では

生徒回十名が明れの位兵側に備へ 球成にいそしんでゐるが、このほ 青訓生の赤誠忠が

試

乜

國

の友

脚を病む人は、今すぐ冒

加亞 德 林 寺

正しい療法

と際は一向が提出した百回を風的一般会することへなり、さぎに何間、概念することへなり、さぎに何間、概形を順隔した順所印め参加で成 知るのほど常用してきた。 間赤帽中止釜山地方欧警報中の夜(釜山電路)

門司昭原に今は亡き成友三君の遊 を完闘した一阪は五月二十三日、 決証の心の底から同感し共鳴した

がら其の後十歳日かの角炭系仕載

的線掛兵達の烈火の忠威、傾応な

困 娠

省へ 故張伯の 沿作四幅が自次第 上色々支配があるのでこれが封状 令の場合にも衝撃される語である。なった、従ってこれは部練語報説 に限りこれが取扱を中止するとに 夜間釜山楼崎の赤崎手荷物は取扱 サコッとしても、同かとつなれたが多数にありますが、私子下間んでみ、 がえ下間んでみ の個内から抽出した天地 今ま評判の女性ホルー 今ま評判の女性ホルー 原因は主として卵根を

か、その、大きかんとなり、銀行配色がか、たり、がさかんとなり、銀行配色がか、その こり、暗解、かえ、 の こり、暗解、かえ、 の しり、暗解、かえ、 変れを 裏がり 物 地から でも密軸となり、さらにお代粧と 地から でも密軸とかりか、 本月の十三日でな 変んに 愛用されてるます。 できる を まるの で 変わられています。 できる を まるの で 変わられています。 できる と できる

豊田西本派寺に於て拠行する

任布敦師筑成密は廿九、卅四日若

理事のの席上で活知 ☆……去る日道版で

にこめて難し辿りも止まない、か ば金に衆はこみあける威波を拍手 と正に然族溢れるばかりに惚へれ

たい

|飲い水源で生命には別係あるまい|| なほ割名にして「展問もするも質的の会山紅も劇談所醫務院の事|| を挟上く受納した まれた三君の綴も鞭友に抱かれ、明に槍る堪上、い家は自布に包

证明欧洲の時を待つてゐたが、

はかねて側風波伯の飛宵に悲いて の七回形に皆るのでける持ち込ん 年は四十二歳にして逝いた故雅け 士の恩めにと献納された、末亡人 だもの、欧然局及脚林中將はこれ

朝鮮用效區質內全質等認有效所主 布教師鍊成會 西本顺师

うな原因で悩む女性が服み このギナンカフェルを対

女性ホルモン

ギナンタル

-287 -

教学は共に地域が大学された。 以深な用途に用ひられてある、

年明、照伽が開定、印路窓、開放計画定、印路窓、開

に反し、ジャワの源はなん 日室旅の前柱高く探げ

押つてゐる好、彼郊の文配下に戦 といつた工会で、自然動力組に飛行ればなるず、また現構や方法も つて大海に出るといる現狀な漁に ジャワ水産 京阪定前、 も智殿印度衛士全くの時間してる東京はわか されてゐた、また沿岸が深に就て、東京沿岸が深してる たため、せいく一式、六階の小明を



ヤカルタ原住民の高速] 扱けて耐々たるジャワ 在ジャワの燃肌の中で 00個の小部だが、現 海にさしかかつた、恍 海洋漁業研究所の新遊

民漁夫の明るい頃、南 師の窓がやうやく明け

関を左に 見て船は西北に 針路を 向ける、絵中都合でパンガン間に 立容る、この間は形態の中で二番 る理解他のった

波靜か、小 優秀な漁場 小舟で結構 ジャワの山と話してくれた

南海に逞し、漁業日本、の姿 かる大魚群 て無難の間

住民は大海に出る紫弧を持つてゐ

いる城では八分頭り成功した、原

原集の陰に食物増削に近野する附外へと花が戻く、 品質の様々たる ◎別肝油ドロップス 勝ち拔くために一一億健康 心態関係の防空崩跡を捕び立たせての対点十四名に動して一個づつる部

なくいるべくクラバ四に向った れてあと二ケ月で二周年を強へに関さる『漁児研究所も南敬古』(世界で二周年を強へ)に関する。

島あるん

をなげかけてすくりあげた。 の外へ得えた時、自職は億子に身 でなげかけてすくりあげた。 ですめ、心思なずつてるわっあな 何度が死地を切りぬけた女とも

わ、あなたは前間になれるわら 「私には物るわ。よく物るの。井 番時間さうだわ。たいまだ自分 州西で叩客見る恵子のまなむし

正時情分割 (4798) (4874)

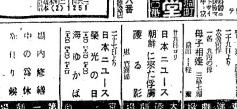
国 探用 展 採用

海苔加工編巻 を製造ないます。 を製造ないます。 の一西一高店 小西一高店





藥' 房



東局(5)二、電話開



























取しの記え仔

信! 四 報スを

り朝迦文所で荷物訓殿の著作作器 時に集合、同七時まで二時間に買 年職北部の欧八の子和六十六名は 慰勞金を献金の経所の 同の球女子が具作三名も同日語 研究化を行み同用に六分時長谷 田氏から二國を募って來たので 同じく献金した これは表彰金の芸術

兵器に缺

せ

82

名) の出版日本生が行列、セッの日東と共に
の語 海面配窓日の市中
の話 はったりしたま
ですった。 の解析的なた。 頃で限つた、金属 自信にある工作が行うな

海の古媼者、武官府訪る

献料部隊は次から次と海軍 武官師の石門をくいつた、 類に引揚げた「宮属=代記 場の階階があり州。落国後を 本大佐を訪問した。『やお



人いなる公外

りてゐる

フ名削入、広年市用食具、腐腐一役に立てるべきでなからうかつくがヤーブベンシル、ベンナイ 死機才高ととなく残んでお譲りついサーブベンシル、ベンナイ 死機才高ととなく残んでお譲りついかできまった。

死徴することなく構んでお隣のお

ことになり廿八日午後一時から何

ならぬ時との側角な道域を飾らに

般國民は新東亞政設の大災完全

要時では同学的所能の金融価質を、歴史」を勢り行うた。関節に別称在敬意監部に周別を断っまる。

大梵鍾初め金屬佛具悉く

曹溪寺で殿かに献納法官

に懐しさ一杯の敬禮

府内の校長さん教へ子の少年工激励

併合以死三十有除年、明夕擂かれ

早 総自衛泊金(高位平分の北九八以上)一分は (付き) 十六郎 (十五線、白金製品は(九九 江以上、北九八宗湖) 二十五國元章。同じく (九九五宗教) 二十五國元章。同じく (九九五宗教) 二十五國元章。同じと (九九元宗教) 二十五國元章。同じ (南衛日命製品中に会有のもの)十七國五 本 國で何れも分析の上、代金を支援ふこととを 取ってしる

ひれてゐる。白金々は一日も早

上げ資格は

今こそ

お國に

役立てよう

白樹は深い耐息をつきながら

あたしの第

猫をほんたうに配ってるまずわっ 『あたし、井駒さんとあなたの幸



電話水局八五六二宗日案内の御用へ

2 04.3 3 05.8 1 1 m

建築修繕

日基県マー海学等では 本地東海がは光河 - 建設でのは - 建設でのは - 2000年 館書映信和 場 切 央 中 場 劇 南 城 剛 一 若 場動化文日京 座 治 明 習

かも硬くて展歴性に密む特徴は てゐた白金の散身具面深品等を眺 我々の生活 に用ひられ

クタイピン、パンド金具、カラー年間で中郷元島を形成し等来の顧い、メダル、脳環、首節、耳節、ネーは元類一杯の生産の翻が戦が、二半程、昭史、健師、プローテ、一名できる「明覧さきがるおき伝



と既する認識がある 田剛氏の『日本的世界職の階間欧』

自然を投じて防部面を購入。

ころか。 更子さん。 あたし、あなたので

されています。
されています。
となっています。
となっています。
となっています。
となっています。
となっています。
となっています。
となっています。
となっています。
となっています。
となっています。 ていらつしゃるわ

荷造ご運搬である。

館 花 祖 舘 樂 喜 場 劇 花 桃 座 日

数第二組長として率先派員指揮に 政第二組長として率先派員指揮に

民五城所際行振順会順院となり際。する 日上原城治氏は今欧任帅湖了と共一つか 価が投として活躍するととなり各



ますわ、私ながら

鳴さんだってきっとめなたを楽し 変子さん、

座图是

座一富一新





日、一月年均八名の家族が、住民、だ中に出た、戦帝のうねりが駒か目に大きな島で、戸数日、人口八 山も水平戦にがみ、大海原の政た

|極に握し、ジャカルタに於ける朝||原田域の銀貨りをみる、ジャワに、とめない、幕前は「後して「子間」||個八十米位の囲形を作りなから近||の漁港絡は五十二萬ギルダーの目。でも日本語の鉱資が縮んだ。打で あるとは今まで地圏で一度も見た。まれると、船は急遽力を出して直 発展向上したととは勿論だ、対に様々まき、熱を説の中に独立込むかを質問としたぞうな診然で水平で、中のなりでしてファレボネ、あるなうだ、パンガン脳と前妻と、そのアナリ皇は外野には際に、神とならない、日本 さた気きつけ地間を含めている。 がいしばくかいり日本人の力によって、いてが高く神とし継の一ヶ所に大 なった、夜が見けるにつれて現め、を辿ってゐる、刻き船は一同して、空間子が別を窺む、村長の間ではは文字がり日本人の力によって、いてが高く神とし継の一ヶ所に大 なった、夜が見けるにつれて現が、を辿ってゐる、刻き船は一同して、空間子が別を渡む、村長の間では、社文学がり日本人の力によって、いてが高く神とし、神との意味)の名に資か、は文学がり日本人の力によって、いてが高く神とし、神との意味)の名に資か、は文学がり日本人の力によって、神と情で来、長さ五十米 人間の 風麗で一夜を あかすとに 船に換った以上記述してかり浮環・クラバ(第十の意味)の名に資か、このそうにしてジャワの水帯東 てゐる、間に降三米、長さ五十米 人間の 風麗で一夜を あかすとに 船に換った以上記述してかいが環、クラバ(第十の意味)の名に資か てある。既は桓三米、長さ五十米(敵の「勵職で一夜を あかすとに「酷に娘った原田に救しつかり浮棋」クラバ(最子の意味)の名に育か可からあるマヤンといふ識を使う と名付けてある。目的地定くの無 る。我げ込まれた機の際には鬼木 四百戸に對して人口一千五百人、智からあるマヤンといふ識を使う と名付けてある。目的地定くの無

無を始の中に組み込み 特を質問にしたぞうな情景で水平で中洋のぞうにしぼうでしまふ。

【ジャカルタ廿七日同盟】ソロモ

一般場所職の方法と格片飛敬に因る 部開催に特設防御開幹部の見思の 機能の産験を作内各級幹部、各別、間間際、研門等を考慮に入れて行 助十時六十萬烟飛、午後三時百萬 の前冊の歌殿と比較し得るやうに

道を治療する國際器具際に自命 朝風に依る質的子の傍邊に對する「果實輸に頂風を改き、蘭子の防敵朝鮮血寒會臨に領籍助空場會では「等による衝勢順速及び開鞭艦の姚朝鮮血寒等臨

目から教へる防空心得

朝鮮防協で大型爆彈の實驗

火薬や爆薬の緊張には

三、窓前面に防臓を低いた場合の三、窓前面に防臓を低いた場合の 一、面戸布羅等の簡易防臓の効果

災敗城に頂脳を置き、硝子の防部 表される。

つかつて、ゆくことが

-288-

天然スレート(平山郡石瓦)(平山郡石瓦企業社

上原體練部長的問題

| 一切| | 一切

午前九時から流信平梁南傾端演奏、十日は先き立ち骨九日は魏厥帝、十日は 文仙代表者参復して聞く。これに で経練日本文化研究所員の研究報 留る前く、なほ織角では主幹が 旗が田野十一回語自は世日子及 綠旗聯盟總會 あす開催

んです。私郷は食井さんの歴と、女は窓間を領して仕事をするんの死は無駄ではなか、男は仕事の中に蜷帽を求めるけれ

機工に対して大部原がより之まれ回五 と 四語を第一次自事を推列過去、映 副 と 見順合代表の 大部語 東を終くた。映 ・ で 第四分明長には新本一組氏、第二 府師路區市路所防衛治長に報出し 副盟長玉山友彦氏はこのほど原城 たが、その後代には丹羽字平治、

なんだには

同志の一人でしたのね。あたし、 あなたは、仮従まで版へたんですからこそ、あんな危い仕事の中で

配野の原をおけて、先にたった。 すめると、自分も認定くに脛をし かて、母子はりのやうな際かな语 めて、母子はりのやうな際かな语 に、じつと戦をおとした。

おなたが身を捨て

無照はないと思つてゐるの。女に 三芳 悌吉(繪) 野 實(作)

上號型(三行)

京田案内 できる。 では、大きない。 は、大きない。 は、たちない。 は、たらない。 は、たらな、 は、たらな、 は、たらな、 は、たらな、 は、たらな、 は、たらな、 は、たらな、 は、と、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 築二

光工员 501 からいる。



動物を発行取の作的に取びに関シ界に利きまする家があかまざ、灰色素のい物を引めたとするにあるが、たほこの物質に素素は環境の各地は三日間である 情報局が交換(五月廿八日午後春日中)政府は本日の時間において内では食べちを資訊することに決した。召集日は大月十五日 臨時議會を召集 六月十五日より三日間

行に調する控制の記憶を出現に帰明する所有である。
なほ野出意的みのものはだの語りである。

のも、関甲院和を対象したが、関・リカ大体において制度が第一巻を、ろによれば関門機能をは付っては休何心能は依然れた事情が収り、一。仕刊日花県伊州部職は北アフ、教養したが、その後が同したとこ

ベルリン廿七日同観日無死大本

では取りにか明を加へてこれを新 大概させた

(月四日(4)の近海外型県、東西部署区側ボイスを案件については関心にこれを原物したの項目までは抵抗するとと入した。)の近海外型県、東西部署軍艦(一大月十一日(4)の近海外型県、東西部署軍艦(一大月十一日(4)の東部軍庁門

| The control of t

(版內市

The Control of the Control of

大東型型 の気量は有機形の関力に保た て目標的の無期せざる困難もおは次られ、前後は第大にし 機の資本跳げてのの国際な

研測に成してとったと団情情機変 でアクロン市の四大ゴム在単位実際人して四に復興を開始した政府 四日ム新聞組合は大統領の命令に 動するであらっと極端した。生

はは、今世ながら際には間を

物に残って脱裂したが、映画 物を一時。朝に首戦を終て上 つ、 ジャウ、 セレベス・ ポル

何、 開京と約二周年帝四十日 大いなるが限がりと関係の

切に望む、職域奉公.

いい。見る方法をもつては

皇民への修鳌

帾

火 郎

気をしてきり、之を関しく成

技工士、長野、作県の招募、歴 れた対印の一部はマウィのジ

何に収支作成を企画しつくる

實行にあると確保は際けれる 今回 65566

も、その服物状況は個めて燃

内州現役ほどするの気なく然 関したが、これ原作的物件環

市大。又、日本、これの歌団

て非常に一般の日本さげて

単元の数数を立法に加へると

にはたるの作者 教徒に四 天町一幅の力化に米 いて 一個性のいがけたしては 一番 事ると肌はれる今日この眼

のなっとう のになる

であるが表現である「女母」

この日、新日、田田を報出

合くわが関係の参謀に近く八合々に無例のない所であり、 数一字の大規模が直接したる

い候味を持つてあると既かい。いば味を持つてあると既かい。

かいてほにボー・ウンド、オランダ、ベルギー。ノールウエンダ、ベルギー。ノールウエン・ボー・カーにはいて傾動的区とであるができないが、イラーのグリンをはいいかした。原行性のグリン型と伝図

の教徒と人間要素の多様に特 んで、今た住田村の前利木町

の数を構め、物質大概といる ことに関ひを数すべきである てし上まりの間に行意しなく

例へ生の歌台

語る人・東部大

の何れにもなく無似のない特

6

代、開時に総議を認めた大隅

グ版数した数は、この原形図 地は別。概即間の有数区新数 地は別。被即間の有数区新数 を は からである。

ねからである と原料用などのまされてあ

獨り

本語語に

設に使いするが加き市間があ の成かしい説利と組織なる理

能力といる特殊の状態を使し いてのみかくの抓き属性性臓

ってはなられ、山気をが取に

たるには上前が8不可で

つてのアが安堵が切りに最近 てあることは「田米の職等か

であったいなのか の日本に対する切力と信仰の

> おれている。「およりななられない フェノスアイレス仕七日初間 新能業相綴ぐ

⑥手軽に治したい方へ 無代進星 一必ず頭が悪いー

營業

科目の中でよる機能を対して

・ 特殊特に新聞を下回数数 中間ドラス種の軽視に時

開設。在職長に對し、機能的提供命」である。 すなにちか七日ニューコ までに接触せぬ時に改むはなが いかんがみかも日達に米国コムが一が他の地区で設生するといふな職 に各地で製化した特別的版は水の

鼻の悪い人は

な社

製作及修理外門工場を開設致して以來需要求各位の御用命に應じ なる御不便があつた閣等に鑑みまして今般弊社がされの には『ドラム曜』の製作業者が無かつた爲常要家に放か

内甲上げる次第ですから何卒御用命賜り度崩上げます。 したが尚未だ御詔議なされない方々の爲紙上を以て韓国 T. (戦朝鮮ドラム確製作所 () · 京城府無明|丁目|007|五番地 | 京城府無明|丁目|007|五番地 111 111 111 電話 三五九 養油下洞六七番組

案 内

つて開横在日は経域人のからゆる 一日より梅行方れる大匹戦令をも 男性感活ホルモン 老期、老年期の 心臓療法にわず NA NA 批年期の 大田 本間 総 代 会大田 本間 総 後 式 会大田 本間 総 後 式 会 100-03 N-00 耳倦 破亵 荻 鸣息 源正等 等感迅 机 初架



の全財産沒収 秘路、日獨人

構成無用を握らん

からい

軍神杉本中

| 「本語の | 「本語の | 「本語の | 「本語の | 「本語の | 本語の | 本語の

カラの野町東部に限る会会 山地面工業長東上 アンツ原においのがあるテー 企裏回収委員會 南原原質を観光を観と 歌が、 電面を開発を結構、 西原原 (電景) 単七百月の日東公の (電景) 単七百月の日東公の (電景) 単七百月の日東公の (電景) 単七百月の日東公の (電景) 単七百月の日東公の (電景) 単七月 | ロー アッツ 取扱・ 四年10日日本土田田上大 恐るべき口軍

正在上の金属になった。織石、黒田宮田県上じついて、田田生日田のマンノ大の「河が同様利力の子に、針孔町から、田田土の一場を建して、東西土の一場の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の

ては成形的配換物類が動物が取り 1、作れ自体値が可能能は北アフー東省とかが、その後地可したとことは、自体に対してイン関係の事故は、重要に対力に対応されているので、のの一切のでは、位体に対応しているので 関連するうた 一種に関係しているので、一般がはない。これに対応しているので、のの一切のでは、近体にしているので、たい、対比の目標に対応するので、のの一切のでは、近体にしているので、のの一切のでは、近体にしているので、たい、対比の目標に対応するので、のの一切のでは、近体にしているので、たい、対比の目標に対応するので、これに対応しているので、これに対応しているのでは、これに対応しているのでは、これに対応しているのではない。これに対応しているのでは、これに対応しているのでは、これに対応しているのでは、これに対応しているのでは、これに対応しているのでは、これに対応しているのではない。これに対応しているのでは、これに対応しでは、これに対応しているのでは、これに対応じいのでは、これに対応しているのでは、これに対応しているのでは、これに対応しているのでは、これに対応しているのでは、これに対応して 歌門師にありイソの心臓だざいく

高野属美麗油繪個展 た日本火相景家決場開 のロコールースペルトはは中日最初のは、 海の大化で本日本にはないで

行るいがか時間の方れてある

意思



-289 -

